|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| スライド 1 |  | “これからチーム微糖の発表を始めます。  よろしくお願いします。”  20~30秒程度。 |
| スライド 2 |  | このプレゼンテーションのセクションは導入・活動・評価に分かれている。  そのことを説明する。  30秒~1分程度。 |
| スライド 3 |  | 下の理由から家計簿アプリの制作に至ったということを説明する。  1分程度。 |
| スライド 4 |  | まず2つのコンセプトを見せる。  その後、コンセプトひとつひとつについての説明を行う。  ①家計簿アプリは数多く存在するため、差別化を・・・  ②専門学校で学んだ技術だけではiOSで動作するアプリケーションの制作が困難であるため、・・・  1～2分程度。 |
| スライド 5 |  | アプリケーション名の由来を説明する。  コンセプトの補足説明として、アプリケーションの機能の詳細について説明する。  使用技術の選定理由について詳細に説明する。（あとでかんがえる）  1～2分程度。 |
| スライド 6 |  | 軽く。  30秒～1分程度。 |
| スライド 7 |  | まず各工程でしたことを説明する。  その工程を経て作成された成果物には何があるか、それはどのようなものかひとつひとつ説明する。  ガントチャート（もしくは進捗の進行度についてのデータ）　データとして見せる意味ある？  デザイン→設計→実装の順に表示する。  2～3分程度。 |
| スライド 8 |  | 続き。  テスト工程については、予行演習の段階で完了していない予定なので  予定していることを説明する。成果物がすでにある場合（テストケースが作成済みの場合など）はそれについて説明する。  構成管理の方法、またドキュメントの運用方法について説明する。  管理しているフォルダは見せる？  2～3分程度。 |
| スライド 9 |  | 実際にアプリケーションを動作させる。  テスト前なので、ローカル環境で行う。（予定）  その際、どの機能がアプリケーションのコンセプトに当てはまるかなどを説明する。  5～6分程度。 |
| スライド 10 |  | プロジェクトを通して良かったこと・悪かったことを説明する。  2～3分程度。 |
| スライド 11 |  | いる？  いるなら個人の感想を発表する。  2～3分程度。 |
| スライド 12 |  | ありがとー  質疑応答  3～5分程度。  全体を通して20～30分程度。 |